

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2007/01/14 駐在員：山川 祐司

年末年始を過ごして

ランシングエリアでは、昨年と違って降りしきる雪の中で年が明けました。その数日後には一転して最高気温が60度（摂氏約15.5度）を超え、道端の雪もほぼ完全に溶けましたが、中旬に入って再び本来の厳しい寒さが戻っています。

一年前にも触れましたが、多くの場所で、クリスマスの飾り付けがそのまま年明けまで出ていることもあり、町の風景から「元日」を迎えることへの改まった感慨を呼び起こされることはありません。

また、日本の商店街のように町を歩いて賑やかな音楽が聞こえてくることは稀であり、ピンと張りつめた静けさの中、電飾の鮮やかさがかえって引き立つようにも感じられます。

州政府や大学関係者には12月21日（金）までの勤務で休暇に入られる方も多く、26日（水）以降はオフィスでもあまり人を見かけませんでした。クリスマスは家族が共に過ごすための大切な時間であり、一年ずつ交替で双方の実家に里帰りしているという若いご夫婦の話も伺いました。



年末のデトロイト市内（屋外でスケートを楽しむ人たち）
入場料は大人7ドルで、ビル街の真ん中にあるためか、ランチタイムパス（月30ドル）という料金設定もありました。



イーストランシング市内（1月1日）